



毎日にわくわく ドキドキ、楽しさいっぱい！心がおどる学校

湯本小学校だより



天栄村教育ポータルサイト
(湯本小 HP)

令和5年11月20日(月) 第13号 発行者：湯本小学校長 柳沼信之

湯本地区文化祭で、元気な姿を披露しました

11月5日(日)、湯本地区文化祭で、湯本幼稚園・小学校の子どもたちが、ステージ発表をしました。普段から少ない人数で学習する子どもたちにとって、大勢の前で発表する機会は大変貴重なものです。子どもたちの真剣な表情やユーモラスな動きに、会場の皆様は喜んでくださり、大きな拍手を送って下さいました。

「地域あつての湯本小学校！」地域に出掛けて、自分の思いを表現する力を高めていきたいと思います。



さんは、77歳のおじいさん。さんは、110歳のおじいさん。さんは、10歳のクマ。さんは、7歳の妖精の役を、英語で演じました。会場にいらした駐在所の物江さん、消防士さんの力を借りて、とうとう大きなカブが抜けました。



湯本幼稚園の園児は、春から練習していた鍵盤ハーモニカやリズム楽器の演奏を披露しました。

また、例年湯本地区で行っている秋の火災運動の呼びかけを、今年は文化祭で行いました。拍子木を打ちながら、会場の中を練り歩きました。



発表のメは、「よさこいソーラン」。この日のために、朝の時間を使って練習を重ねてきました。

5月の運動会の頃とは違う、4人の切れのある踊りもこれで見納めです。6年生2人の今までの頑張り感謝です。



写真提供：湯本写真館様



毎月、湯本地区の星 咲子先生が、お花を生けに来校されています。お花を生ける様子を見るのも楽しみの一つになっています。

また、地域の心ある方からも、お花が届きます。湯本小学校の玄関は、とても華やかです。

湯本デイサービスセンター訪問

11月7日（火）、湯本地区にあるデイサービスセンターを訪問し、施設を利用されている方と交流を行いました。実に4年ぶりの訪問でした。子どもたちは、湯本地区文化祭で発表した創作劇「おおきなカブ」を演じたり、「カントリーロード」を歌ったり、「よさこいソーラン」を踊ったりと、力いっぱいの発表をしました。

その後、施設の方が行っている運動（ボールけりゲーム）を一緒に行い、楽しい交流の時間を過ごしました。



利用されている方にも、劇に参加していただきました。



法被を着てよさこいソーランを発表。元気いっぱいの姿です。



利用されている方と一緒に、ボールけりゲームに参加。笑い声が。



ゲームに勝った人の証、花輪のプレゼント。

